

川除け及び弁天の森

FI・Df/Tr



Ver.1(2020/2/1)

災害伝承 DATA

所在地：長野県下伊那郡阿智村
浪合上町 1047
緯度・経度：北緯 35 度 22 分 27.7 秒
東経 137 度 41 分 11.9 秒
伝承形式：土木構造物・工事
種類 / 要因：洪水・湛水・土石流 / 集中豪雨
災害発生：1721 年（享保 6 年） など
建立時期：1830 年～1844 年（天保年間）
指定等：なし
周辺地形：山地・溪谷



観光情報はこちら

言い伝え・伝説

浪合村は浪合川の氾濫によって過去、何回も大水害を被っています。天保年間に造られた石垣は、氾濫に対して宿場を守る働きをし、一方で、隣の弁天様の森は、その際被害を被らない安定した場所といえ、いくつかの古木が繁っています。

周辺案内

浪合宿は、飯田城下への距離や寒原峠・治部坂峠にはさまれた場所という条件から、中馬や旅人が宿泊する場所で、賑わったそうです。現在、浪合宿のあった中下町・上町あたりには、当時の家並みといった景観がわずかに残っており、街道当時の水路も一部残っています。